

60代から輝く コンサート15年

25日青葉区 40人が記念演奏会

声楽は65歳から、器楽は60歳から。ジャンルはクラシカルな音楽——。こんな参加条件のコンサート「65歳からのアートライフ」が、横浜市青葉区で開かれ、今年で15周年を迎える。同区在住の声楽家がNPO法人を立ち上げ、歌の指導をしながら続けてきた。25日には、90代を含む約40人が出演する記念コンサートを企画している。

声楽家の酒井沃子よここさんがシニア世代の合唱を指導していた際、個別レッスンもしたところ、それぞれが生き生きと、楽しみながら上達していく姿を見た。「発表の場としてコンサートをやるう」。酒井さんは行動に移す。2003年、NPO法人「65歳からのアートライフ推進会議」を設立。同区でクラシック音楽を主目的に設計されたコンサートの広報担当、宮本治保さん

トホールを会場に、著名な声楽家を特別講評委員としても迎えた。□コミで出演者が増えていった。県内はもとより、首都圏のほか、東北や関西地方からもやって来た。これまで延べ約1400人がステージに立った。

出演者は、定年退職してから歌を始めたような人が大半だったという。NPOの広報担当、宮本治保さん



本番を控えて、酒井沃子さん(左から2人目)の熱心な指導が続く＝横浜市青葉区新石川1丁目

声楽家が指導 楽しんで上達

(74)もその一人。もともと歌は好きだった。鉄道会社に勤務し、上司に誘われて社内合唱団に参加したこともあった。

65歳で会社員生活を終え、酒井さんの個人レッスンを受けるようになった。そして、このコンサートの存在を知る。初舞台で歌う曲は決まっていた。「大きなホールで『オー・ソレ・ミオ』を歌うことが、小さい頃からの夢だった」。65歳にして夢をかなえ、その後も2年に1回の割合で出演している。

酒井さんはコンサートにあたり、暗譜を課している。出演者たちは週1回程度、練習のために酒井さんの教室に通ってくる。「練習を休むと遅れてしまうので、ちょっとした風邪は治して来る。寝たきりにしない施設かな」と酒井さんは笑顔で語る。そして、活動の継続を望んでいる。「次の世代に渡せるように、きちんとした地盤を作りたい」

15周年記念特別コンサートは25日午後2時開演、横浜市青葉区青葉台2丁目のフィリアホール。入場料1500円。申し込み・問い合わせはオフィス・パルーン(045・902・7402)。